



広報

いせん

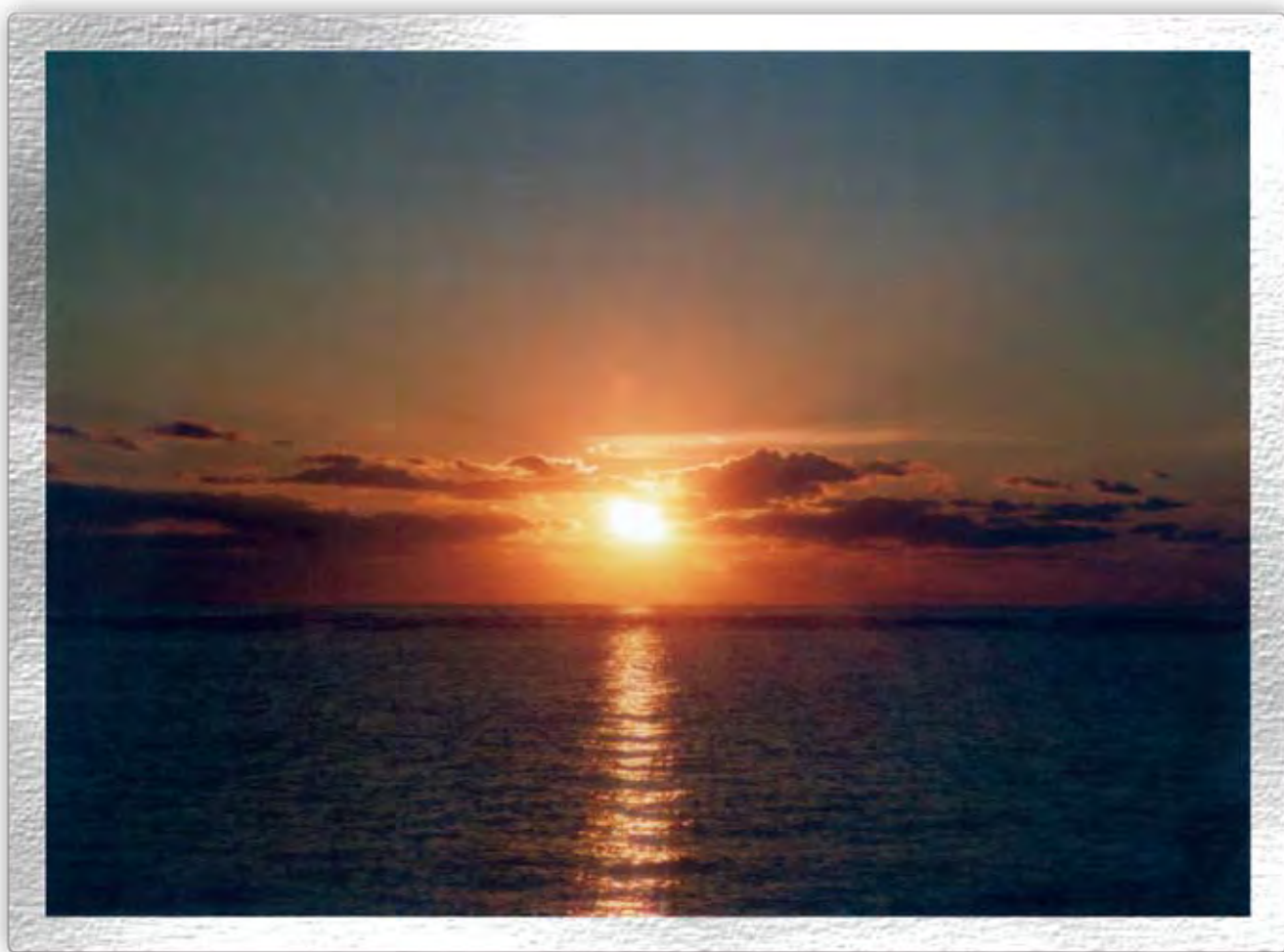
No.290

全世帯配布 編集・発行 伊仙町役場 企画課

〒 891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 1842 TEL 0997(86)3111 FAX 0997(86)2301 2011年(平成23年)1月号

URL <http://www.town.isen.kagoshima.jp/>

新年あけまして おめでとうございます



徳之島の日の出

今月の主な内容

- 新年のあいさつ
- 町民文化祭
- 産業祭・百菜祭
- 金婚式
- 町内駅伝競走大会
- ウォーキング大会

主な行事予定

- | | |
|---------|----------|
| ○消防出初め式 | (1月 4日) |
| ○成人式 | (1月 5日) |
| ○クリーン作戦 | (2月 20日) |
| ○中学校卒業式 | (3月 15日) |
| ○小学校卒業式 | (3月 24日) |

新年のごあいさつ

伊仙町長
大久保 明

も達の健やかな成長を願い、児童福祉向上に資するための子育て支援「出産祝金」の支給、共働き家庭の手助け「預かり保育」の実現などきめ細やかに進めます。

農政面においては「農業生産額50億円達成」を目標に基幹作物であるさとうきびの単収向上、畜産の振興は勿論、亜熱帯の気象条件を生かした付加価値の高い、マンゴーやたんかん、さらには赤土パレイシヨ、シヨウガ、ゴマ、南瓜など高収益性の作物栽培を推奨します。

又、これらに加え徳之島コーヒーやボタンボウフウ（別名長命草）の栽培も育苗から実証栽培へと移行し軌道に乗ってきました。

平成20年8月にオープンした「徳之島交流ひろばほーらい館」も昨年5月には入館者20万人を達成、徳之島全島から多くの方々が来館され、健康増進と交流・憩いや語らいの場、徳之島の新しい南の拠点として盛況になって参りました。

又、直売所「百菜」も地産地消を基軸に、長寿食や無農薬という付加価値の高い農作物をICTを活用し、全国に販売発送する魅力あるスペースとして高い評価を受け期待されています。

この「徳之島交流ひろばほーらい館」「直売所「百菜」」を拠点に過疎の町から脱却して、新生伊仙町を創るのが我々に課せられた使命でもあります。

今年4月から情報通信基盤整備推進交付金事業の導入で町内全戸に光ファイバー網が敷設整備され、運用の運びとなります。これは、単位面積当たりの人口密度が低い当町において、民間では参入し難い高速ブロードバンド回線であるFTTHを全家庭へ導入し、防災行政無線の各家庭にある個別受信機に替わるIP告知端末器の設置で緊急時のもとより、

日常町行政から町民への広報の周知が確実に向上します。

このように、画期的なICT社会の構築に向けた取り組みとして、伊仙町の公式ホームページの充実（例えば、行事予定表や各課の恒常情報の掲載・利用者へのメールマガジン配信・町民から直接意見を拝聴する御意見BOXの整備）を検討します。

更には、関連ホームページ「どうくわさ」「百菜」「ほーらい館」「子宝ねっといせん」・「もつと伊仙町U・Iターン」の充実にも連携しながら支援します。

観光については、景気低迷により観光客の入り込み数が低下しているのが現状です。豊かな自然と個性のな伝統・文化を再認識し、これらを活かした魅力ある観光地づくりで、見る観光から体験型の観光を提案する必要があります。しかし当町では、宿泊施設等が不足しているため、平成20年12月より厚生労働省の「地域雇用創造促進事業」（パッケージ事業）の一環で主に人材育成を目的とした研修会を行っております。さらに、特産品の開発や商品づくり・観光光ボランティアガイドの育成など、新規雇用の場として進めて参りました。

平成22年4月にはグリーン・ツーリズム研究会を発足させ、農家民泊受け入れがスタートしました。続いて、減農薬野菜づくりを目指す手づくり酵素研究会の発足など、これら各種団体と連携を図りながら徳之島特有の滞在型体験型観光を構築し「伊仙町」の魅力発信していきたいと考えております。

今後とも、「長寿と子宝の町」・「人情豊かなもてなしの町」として更に情報発信し、町勢発展のため、職員一同一丸となって全力投球で頑張っていきます。

町民の皆様の尚一層のご協力と、御支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

新年の挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、町民の皆様と共に輝かしい新春を健やかに迎えられました事を、お慶び申し上げます。

昨年10月20日奄美地方は、記録的な集中豪雨で家屋や農作物、道路など劇的な被害を受けました。

「天災は忘れた頃にやってくる」と云う言葉を教訓に常日頃からの備えと対策が大事であります。

又、降って沸いたような米軍普天間基地の徳之島移設案が浮上、島民が一致団結し、一丸となって反対運動を展開した結果、静観を極めたようにみえます。しかし、日米共同声明文に明記されている徳之島案が削除されない限り、まだ楽観視できません。

「共に創ろう躍進する輝く伊仙町」を政策の全面に掲げ、町民総親和・住民参加型の町政を進め、過去に長寿世界一を2人輩出し、子宝日本一の栄誉を合わせ持つ「健康・長寿子宝の町、人情豊かなもてなしの町」少子高齢化が進む日本社会の中、モデル地域として、全国が注目、しだれもが行ってみたい町、住んでみたい町づくりを目指します。

このように、人口の増加する町としてU・Iターン者の定住が可能になるよう、安心して暮らせる環境づくりのため「住宅政策・空家対策」を促進させ整えます。又、子宝の町として、次世代を担う子ども

新年のごあいさつ



伊仙町
教育委員会教育長
亀山 喜一郎

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えられたことと存じます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私こと昨年二月に教育長の職を拝命し、未だ一年足らずではありますが、その間、職務の重大さを痛感しつつも本町の教育行政が抱える課題解決に向けて微力ながら取り組んできました。

先ず学校教育では、新学習指導要領のキーワードである子どもの「生きる力」すなわち、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を目指し、学校、教育委員会が一体となって取り組んできました。本町に限らず地区全体の大きな課題の一つである「学力向上」に向けては、

大島教育事務所の重点施策である「アクションプラン」の下、「凡事徹底」で毎日繰り返される授業の充実こそ学力向上の原点であるところと見え、全小中学校が指導方法改善と授業実践に取り組むと共に「家庭学習60・90運動」の質的改善工夫にも努めているところとです。

一方、教育環境の整備としては、教職員の資質向上の一つとして夏休みの教育講演会（人権教育）の実施と特別支援教育の条件整備。日々、国際化社会が進む中、二十三年度から完全実施となる小学校五、

六年の「外国語活動」や中学校の生きた英語教育の充実を期して、町当局のご理解もあって町独自のALIT配置が実現、また、「子育て支援」の一環として町内3幼稚園の「預かり保育」も昨年9月から始めました。毎年実施されている「子ども議会」からは、自分が住む町の姿を見た率直な意見が出されて、町議会で「ゴミのポイ捨て禁止条例」が採択され、六月にリニューアルオープンした図書館の「移動図書館」の要望には「希望図書宅配便」の形で遠隔の学校の子どもにも図書館利用の便宜を図るようになりました。

また、学校教育の一環としてのスポーツ活動、文化活動にも目覚ましい活躍があり、伊仙剣道スポーツ少年団の県大会優勝は、島の子どもにもやれば出来るという自信を与える快挙でもありました。文武両道における活動は、日ごろから子どもと一緒に取り組んで下さる指導者の皆様の賜であることはいうまでもありません。

社会教育においては、県教育行政の基本目標である「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」に努め、伊仙の良さ（人・自然・文化）を生かした「自ら学び高める生涯学習」と「地域の教育力の再生」「健康や食育」「伝統文化の継承と後継者育成」の推進に努めてまいりました。

「地域が育む『いせんっ子』育成プラン」の具体的な取り組みとしての「親子チャレンジ教室」は、毎回、参加者が増えプログラム数も増やして、体験活動を通して親子の絆を一層深めるなど、各種研修会や講座での発表では好評をいただいています。

新年度に向けては、行事を見直し、改善を加えながら更なる町教育行政の充実発展に教育委員会一丸となって町民の期待に応えられるよう頑張ります。

終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

町長 大久保 明

副町長 中野 幸次

教育長 亀山喜一郎

総務課長 稲 隆仁

企画課長 牧 徳久

税務課長 池田 俊博

町民生活課長 鶴永 宏造

保健福祉課長 松田 一郎

経済課長 樺山 誠

建設課長 上木千恵造

耕地課長 大山 秀光

環境課長 永島 均

水道課長 中熊 俊也

会計課長 福永 正徳

議会事務局長 樺山 正二

選挙管理委員会書記長 岩井哲之助

農業委員会事務局長 仲 武美

教育委員会総務課長 窪田 良治

社会教育課長 當 吉郎

給食センター所長 吉見 誠朗

ほーらい館 館長 四本 延宏

保健センター所長 澤 佐和子

他職員一同

町 民文化祭

「いせんの良さ（人・自然・文化）を生かした
学びを通じた人づくり・町づくり！」

第13回いせん学びフェスタ2010、伊仙町生涯学習町民フェア・第33回伊仙町町民文化祭が11月3日、「いせんの良さ（人・自然・文化）を活かした学びを通じた人づくり・町づくり！」を大会テーマに伊仙町総合体育館において開催されました。

オープニングに木刀による剣道基本技稽古法・空手道型演武を披露、また舞台発表では伊仙小学校の子ども達（中伊仙意見口説保存会）による伝統芸能意見口説を皮切りに島唄・日舞・レクダンス・バンド演奏等を、披露し会場の皆さんを楽しませてくれました。体育館前では、郷土の食材を使用したお昼の弁当の販売もあり人気を集めました。

開会行事で、文化・芸術部門の表彰が行われました。受賞者は下記の皆さんです。

生涯学習の部	団体	木之香稲摺り節保存会
	個人	穂積 重信・田中 スミ子 屋江 ヤス
文化協会の部	個人	幸山 忠重・喜納 香代子 岩井 正美
		伊 成実
感謝状贈呈		伊 成実
表彰伝達の部	団体	喜念校区子ども会 (県青少年育成県民会議) 西伊仙西子ども会育成会 (県こども会)
	個人	川本 博光 (地区子ども会)



体育館内入り口には、茶道教室、町内の各種団体の生け花や、書道・絵画などの作品が展示され、訪れた人達の目を楽しませていました。

産 業祭・百菜祭

第34回産業祭が11月23日（木）、徳之島交流ひろば「ほーらい館」前広場・百菜前で開催されました。式典・各種表彰に続き今回は、パン食い競走・綱引き・島豚レース・ウナギのつかみ取り大会など、多彩なイベントで大盛況の一日でした。

また、百菜前の会場では農産物の販売・加工品や植木・リサイクル商品などの出品があり、島内外から多くの参加者が来場し賑わいました。

	表彰部門	内容
窪田 伸一	農業委員会	優秀農業委員
大竹 興産	糖業	さとうきび生産改善共励会
窪田 清	直売所百菜	百菜出荷と運営への貢献
4Hクラブ	畜産	口蹄疫防除に対する取組
仲島 大智	夢ある農業絵画	町長賞
岡元 咲樹	//	教育長賞
永田 将也	//	農業協同組合賞
森本 聖羅	//	南西糖業賞
元原 誠人	//	共済組合長賞
実岡 健太	//	奨励賞
岡林 晴樹	//	奨励賞
盛 梨紗	//	奨励賞
竹崎 智紀	//	奨励賞
孝 隆希	//	奨励賞
面縄小学校	//	学校賞



合同金婚式

伊仙町の合同金婚式が11月7日(日)、ほーらい館(癒ていなホール)において盛大に挙行されました。

今年を対象者34組のうち、20組が出席。50周年という長い年月を家庭の為、地域社会の為に共に頑張ってきた御苦労、御貢献に対し敬意を表し、これからの生涯を有意義に送って頂けるようにと、町をあげての祝賀会を挙行いたしました。



開会行事に続き祝賀会では、金婚式を迎えられた皆さんの結婚した時から今日までのメモリアルをスライドで演出。(当事者の皆さん、50年の結婚生活を改めて振り返った一日でした。)御前風に続き島唄・日舞などの他、町民生活課の職員と保育園児の演技等盛りだくさんの内容で、会場はとても和やかな雰囲気になっていました。

伊仙町駅伝競走大会

第32回伊仙町駅伝競走大会が11月24日(日)、開催されました。

コースは、喜念浜公園駐車場をスタートし、糸木名小学校グラウンドをゴールする8区間16.6キロを9チームが競いました。

今年は、犬田布校区が見事優勝を果たしました。

成績は下記の通りです。

(総合順位)

- 優勝 犬田布校区 (大会新記録)
- 準優勝 面縄校区
- 3位 阿権校区

(区間賞)

- 第1区 小学男子 原 良樹・中村 亮介 (大会新記録)
- 第2区 一般女子 溝江 美千代
- 第3区 中学男子 當 英将
- 第4区 高校女子 前河 ひとみ
- 第5区 高校男子 西川 翔
- 第6区 中学女子 永里 千春
- 第7区 一般男子 新留 研
- 第8区 小学女子 元原 千夏



ウォーキング大会

第3回徳之島長寿世界一・子宝日本の里ウォーキング大会2010が11月28日(日)、開催されました。

今年は、ほーらい館前広場を主会場(開会式)に東部:「子宝日本一安産と子宝の新田神社参り芭蕉布工房など歴史・文化散策」の10キロコース、中部:「長寿世界一泉重千代翁宅及び徳之島カムイヤキ陶器窯跡など歴史・文化散策」の15キロコース、西部:「長寿世界一本郷かまと姫生家及び旧家石垣群、巨大ガジュマルなど歴史・文化散策」の20キロコースを設定し、各名所旧跡では、ボランティアガイドによる説明に加え島唄・三味線が披露され、昼食には、昔ながらのかしやにぎりと豚汁を味わい、晩秋の伊仙路を心ゆくまで楽しみました。



泉 芳朗杯グラウンドゴルフ大会

日本復帰記念の日の集いに伴う第 13 回泉芳朗杯グラウンドゴルフ大会が 11 月 5 日 (金)、伊仙町総合グラウンドにおいて開催されました。

競技には島内 47 チーム約 300 名が参加、珍プレー・好プレーの連続で盛り上がりました。

成績は次の通りでした。

団体	優勝	亀徳 B			
	準優勝	絆クラブたかちじ A チーム			
	三位	愛好会 C			
個人	男子	優勝	当 利夫	女子	椀山 イツ子
		準優勝	順 益夫		福本 みつ子
		三位	勇 武市		芝田 ヒロ子
特別賞	ラッキーセブン	男子	勝 昭市	女子	平山 栄子
	当月賞	11 番	男子 大久保 博二	女子	澤 トシ子
	当日賞	5 番	男子 富岡 昭夫	女子	清島 麗子



航 行援助業務協力者に対する表彰伝達式

11 月 9 日 (火)、伊仙町役場町長室において 11 月 1 日の灯台記念日に合わせて伊仙町目手久在住の、徳和廣さん (59 歳) が海上交通の安全確保のため、永きにわたり喜念埼灯台の灯火監視協力者として多大な功績をされたことに対して海上保安庁から感謝状が贈られました。

徳さんは、今年で 20 年間、灯火監視・港湾導灯など海上交通の安全確保のため協力をされました。



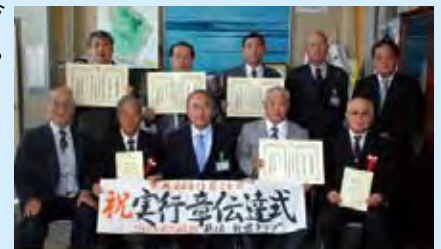
小 さな親切運動伝達式

「小さな親切」運動の表彰伝達式が 11 月 25 日 (木)、伊仙町役場町長室で行われ町内の 5 団体・4 個人に実行章が伝達されそれぞれ賞状と記念品を贈り、運動の大きな広がりを称えました。

徳之島 3 町で運動に取り組んでいる「徳之島新世クラブ代表」の義間久高氏は「受章者の数が増えるにつれ親切の和が広がっています。今後、島外にも成果が上るよう期待します」と話されました。

第 566 回小さな親切実行章受賞者

(個人)	義 憲和	(団体)	伊仙町立伊仙小学校
	義岡 明雄		伊仙町立犬田布小学校
	美山 保		伊仙町立面縄中学校
	松岡 由紀		幸徳保育園
			島われ会



西 部 地 区 看 板 設 置

この程、犬田布小・中学校の通学路に交通安全対策としての看板 (標識) を設置しました。

周辺は、犬田布の中心地で緩やかな傾斜になっており伊仙方面に向かっての見通しが悪く、地域や学校側の要望もあり今回の設置に至りました。

ドライバーの皆さんからは、「看板 (標識) の設置により減速・徐行と再度確認をする様になりました」という声が聞こえます。交通事故の抑止につながるとういんですね。



戦 没者慰霊祭

11月26日(金)、義名山神社境内で戦没者慰霊祭を行いました。

慰霊祭には、町役場・遺族・関係者約100名が参加し犠牲者の霊を慰めました。

大久保町長は「戦争の惨禍を再び繰り返させないためにも、戦争の悲惨さを後世に伝えていくことが必要、また私たちは伊仙町に住んで良かったといえるよう、長寿と子宝の町として一層努力します。」と恒久平和への誓いを新たにしました。



東 伊仙東の青年団(十五夜・綱かき)

東伊仙東集落の十五夜祭りは、10年前ぐらいから集落を活気づけるため、伝統を継承したいという思いから青年団が中心となり復活しました。

毎年、敬老会も兼ねて75歳以上のお年寄りを無料招待しています。子供から大人までの綱引き大会や豊年相撲、夜店・舞台では、島唄、バンドの演奏、お楽しみ抽選会などを行い、集落の昔からの行事として、全員参加による盆踊りとトヨミ(集落ごとの踊り)で祭りは閉めます。綱引きで使う綱は、7年ぐらい前から稲わらを使い、集落のみなさん全員に呼びかけて作ります。

青年団長の政野勝宏さんは、「準備の段階から皆の協力がなければ出来ない行事、助け合い結いの精神とともに伝統を受け継いでいきたい」と語っていました。



伊 仙町老人連合会芸能大会

伊仙町老人連合会では、11月30日伊仙町総合体育館において「伊仙町老人連合会芸能大会」を開催しました。会員の皆さんは、日頃から地元の集会場に集まって体操やレクリエーションなどを楽しみながら健康と生きがいづくりに汗を流し、また、地域社会づくりの担い手として積極的に活動をされています。当日は、踊り・三味線・カラオケ等を披露、日頃の成果を存分に発揮し、会場からは盛大な拍手が送られていました。



内 竜也 投手来島

プロ野球日本シリーズで優勝した「千葉ロッテマリーンズ」の投手、内竜也さんが、父母の故郷伊仙町へ帰郷しました。12月10日には、ほーらい館において「故郷訪問歓迎会」が内投手を迎え盛大に開催されました。インタビューのコーナーでは、会場から母上へ「どうしたら内選手のような素晴らしいお子さんを育てられるのでしょうか?」という質問に対し、内選手は「自由に育てることです!」と母上より先に回答し、会場をわかせていました。



建設課からのお知らせ

『平成23・24年度建設工事入札参加資格申請』を下記のとおり受け付けます。

◎ 提出書類（建設工事について）

- 1 建設工事入札参加資格審査申請書
- 2 建設業許可通知書の写し
- 3 建設業許可申請書の写し
- 4 経営規模等評価・結果通知書の写し
- 5 直前2年の各事業年度における工事経歴書
- 6 町税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）
- 7 消費税及び地方消費税納税証明書の写し
- 8 労働保険料（労災保険）納入証明書の写し
- 9 退職金共済組合加入契約証明書の写し
- 10 雇用保険料納入証明書の写し
- 11 使用印鑑届
- 12 その他（ボランティア証明書の写し 等）



◎ 提出書類（物品について）

- 1 入札参加資格審査申請書 2 営業概要書 3 納税証明書
- 4 徴税等納税証明書及び各使用料納入証明書（町内業者のみ）

●測量、建設コンサルタント、地質調査等については、国土交通省の統一様式で提出してください。

◎ 提出部数：各1部

◎ 受付期間：平成23年1月5日～平成23年3月31日迄

※ 注意事項

- 1 書類不備の場合は受け付けできません。早めに申請し、確認を受けてください。
なお町内の新規業者を除き、上記受付期間を過ぎると受け付けできません。
- 2 提出書類は、提出書類の一覧表を最上段にし、上記の各様式番号順にインデックスを付けA4判のファイルに綴じ、表紙及び背表紙に「入札参加資格審査申請書」及び「会社名」を記入してください。また、複数の業種を申請する場合は、業種ごとに提出してください。
- 3 申請年度内に許可（建設業許可）の期限が切れる場合は、すみやかに新許可書入手し提出してください。
- 4 町外業者については、2年毎、町内業者については毎年の更新をお願いします。

【問合せ先】 伊仙町役場 建設課 TEL：86-31111（内43）

平成23年度保育所園児募集

平成23年度保育所への入所希望者は2月10日（木）までに、町民生活課で申し込み手続きをして下さい。

【保育所入所基準】

- 1 保護者が、共働き等の理由で保育に欠けること。
- 2 保育料の未納・滞納がないこと。
- 3 へき地保育所は就学前までで、保育時間は8時30分～17時15分まで。
- 4 幸徳保育園は、修学前までで、保育時間は7時～18時50分。但し、18時～18時50分までは延長保育（有料）となります。
- 5 わかば保育園は修学前までで、保育時間は7時30分～18時50分。但し、18時～18時50分までは延長保育（有料）となります。
- 6 いせん保育園は修学前までで、保育時間は7時30分～18時50分。但し、18時～18時50分までは延長保育（有料）となります。
- 7 いせん保育園・幸徳保育園・わかば保育園は、所得状況等により保育料が変わります。

※保育所入所（希望者多数）により、希望の保育所に入所出来ない場合があります。
あらかじめご了承ください。

【問合せ先】 町民生活課 36-31111（内55）

20歳になったら国民年金

国民年金は、全ての公的年金の基礎となるものです。日本国内にお住まいの20歳から60歳までの方は、公的年金に加入することが法律で義務付けられています。

やがて訪れる長い老後や、生活の安定を損なうような“万が一”の事態に備え、保険料を出し合い、お互いを支え合う制度です。

20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう！

Q1 国民年金の加入手続きは、どこで行えばいいの？

国民年金の加入手続きは、お住まいの市区町村役場の国民年金担当窓口で直接お手続きください。

お時間に余裕がなく、窓口までお越し頂くことができない場合は、郵送によりお手続き頂くこともできます。

Q2 毎月の保険料はいくら？

国民年金の保険料（定額）は、月額15,100円(平成22年度)です。なお、保険料をまとめて前払いすることにより割引される前納制度や便利な口座振替制度などもあります。

お支払い方法・・・現金で納付される場合は、日本年金機構からお送りする納付書を使用して、銀行等の金融機関、郵便局、コンビニエンスストアでお支払いください。

Q3 でも、毎月15,100円は払えない・・・そんなときはどうすればいいの？

所得が少なく保険料を納めることが困難な20歳以上の学生の方については、学生納付特例制度という保険料の納付が猶予される制度をご利用いただけます。申請はお住まいの市区町村役場の国民年金担当窓口で行ってください。なお、申請は毎年必要です。

対象となる方

大学(大学院)、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校、※各種学校に在学する学生等で、ご本人の前年所得(1月から3月までに申請される場合は前々年所得)が基準以下の方です。

※各種学校 → 学校教育法で規定されている修業年限が1年以上の課程

(なお、一部の海外大学の日本分校も対象となります。詳しくは年金事務所までお問い合わせください。)

所得のめやす

118万円 + 扶養親族等の数 × 38万円 で計算した額以下である場合

【年金相談会のお知らせ】

(日時) 平成23年2月25日(金) 9:00~14:00

(場所) 伊仙町中央公民館 研修室

【問合せ先】 町民生活課 年金係 0997-86-3111 (内52)

環境課からのお知らせ

【犬・猫 動物病院をお探しの方へ】

犬・猫の避妊・去勢、またケガや病気などで困っている方、下記で動物病院を開業しています！！

川内家畜医院
Tel 0997-93-3371
大島郡知名町余田(あまた)919

奄美動物病院
Tel 0997-52-2022
奄美市名瀬浦上町2-27

鹿大農学部付属動物病院
Tel 099-285-8750
Tel 099-285-8732
鹿児島市郡元町1-21-24

徳之島でも避妊・去勢の手術ができる方法もあります。詳しく知りたい方はお気軽にご連絡ください。

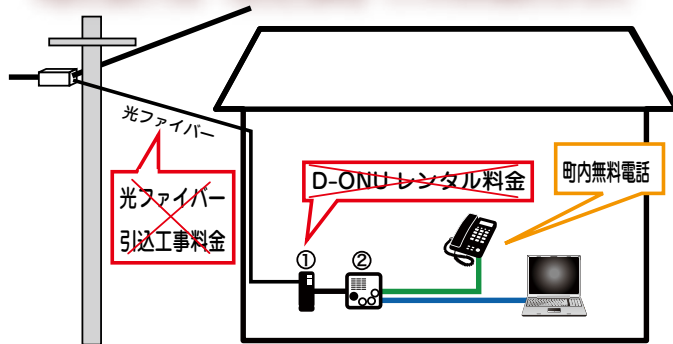
政田 090-8768-7431 金城 090-1080-1008

伊仙町 地域情報通信基盤整備推進交付金事業

光インターネット加入申込受付中

年度内工事完了分は、下記引込工事料金・レンタル料が無料となります。

伊仙町での光インターネットサービス提供エリアは、伊仙町全域となります。



①D-ONU 光信号を電気信号に変換する機器(ターマ用)。②IP告知端末機 防災無線や集落放送等の告知端末機。

光インターネットサービスお申し込み方法

徳之島ビジョン株式会社フリーダイヤル:0800-600-7109にお電話いただくか、サービス申込書を下記まで直接ご持参もしくは0997-86-4255までFAXをお願い致します。

- ◆徳之島ビジョン株式会社 伊仙町事業所(旧ほっかほっか亭跡)
- ◆伊仙町役場 町民生活課
- ◆有限会社徳之島OA販売(徳之島ビジョン販売代理店)
- ◆パソコンレスキュー 中山 弘



子宝ねっといせんとは

インターネットを使って、お子さんに関する成長記録を作成したり、幼稚園・保育所・小学校・中学校・保健センター等からのお知らせや案内を携帯やパソコンのメールに配信するサービスです。来年1月より試験運用を開始し、4月より本格運用を予定しています。【お問い合わせ】企画課・子宝ねっと事務局(86-3111) 美延



平成22年度高齢者実態調査の実施について

1. 目的 第5期介護保険事業(支援)計画及び高齢者保健福祉計画(期間H24年~H26年)の見直しに当たり、既存データでは把握困難な、高齢者の実態や意識・意向を調査・分析することにより計画策定の基礎資料とする為の調査です。

2. 期間等 調査期間 平成22年12月~平成23年2月

3. 調査区分(種類)

皆様のご協力とご理解をお願いします。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| (1) 介護保険施設入所者(約100人) | 町職員・地域包括支援センター職員が直接伺い聞き取り調査をします。 |
| (2) 在宅要介護(要支援)認定者(約500人) | |
| (3) 一般高齢者: 65歳以上の方(約500人抽出) | 調査票を郵送により発送し、民生委員及び町職員が回収に伺います。 |
| (4) 若年者調査: 40歳以上65歳未満の方(約500人抽出) | |

あなたの町の民生委員さんです (平成22年12月1日改正)

子育て家庭や高齢者の方々など、誰もが安心して暮らしやすい地域社会をつくるために、民生委員・児童委員はあなたの身近なところで、さまざまな相談・支援をしています(任期平成22年12月1日~平成25年11月30日)

担当地区	氏名	担当地区	氏名
喜念・佐弁	伊藤 鈴子	西伊仙西	作井 澄子
東目手久	与田 シズ江	東阿三	松本 美江子
西目手久	溝口 和枝	西阿三	福山 一広
東面縄	池田 正一	馬根・中山	稲 トキ子
上面縄東	町本 はつ江	東阿権・八重竿	芳田 広邦
上面縄西	基 マナミ	西阿権	米山 寿八郎
古里	福澤 敬子	木之香	川本 博二
上検福	吉田 福秀	東犬田布	山本 絹枝
下検福	義岡 節巳	西犬田布	時 孝
御前堂	仲 久美子	崎晴・上晴	原根 テル子
東伊仙東	園田 エイ	糸木名	元原 そのえ
東伊仙西	富 啓子	河地	嶺 さやか
中伊仙東	吉岡 初枝	小島	吉村 セツ子
中伊仙西	嘉納 けい子	主任児童委員	義山 園枝
西伊仙東	森 トシ	主任児童委員	松田 房子

奄美豪雨災害」義援金と「鹿児島県口蹄疫被害義援金」募金のご協力のお礼とご報告について

平成22年10月20日に発生しました奄美豪雨災害に対して、心温まるたくさんの義援金をいただきありがとうございました。

みなさまから寄せられました義援金は、90、752円でした。

いただきました義援金は、奄美の豪雨災害の復興に役立つことと思います。

また、「鹿児島県口蹄疫被害義援金」募金に、4、951円の義援金をいただきました。

みなさまの心温まるご協力にお礼とご報告です。ありがとうございました。

平成22年12月8日

社会福祉法人 伊仙町社会福祉協議会 会長：琉理人

国の教育ローンのご案内

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

【ご融資額】学生・生徒1人あたり300万円以内

【利率】年2.45%（固定金利、平成22年10月18日現在）

（母子家庭の方の利率は年2.05%（固定金利、平成22年10月18日現在））

【ご返済期間】15年以内（交通遺児家庭または母子家庭の方については18年以内）

【お使いみち】入学金、授業料、教科書代、アパート・マンションの敷金・家賃など

【ご返済方法】毎月元利均等返済（ボーナス時増額返済も可能）

※ご利用いただける方など、詳しくは「国の教育ローン」コールセンター（0570-008656（ナビダイヤル）または（03）5321-8656）までお問い合わせください。

伊仙町民各位

お詫び 【敬老年金の着服】

マスコミの報道等で既にご存知の方も多いかと思いますが、このたび、町職員が、敬老年金（80歳以上の方々への敬老祝い金）の一部（老人福祉施設分）を着服するという、あってはならない事件が発生いたしました。ここに町民の皆様にご報告するとともに深くお詫び申し上げます。敬老年金の制度は、「長寿の町」として、伊仙町独自の高齢者を祝福する制度でございます。この敬老年金事務を担当していた職員は、平成19年度から21年度の間、二つの老人福祉施設分（祝金）一、四一六、〇〇〇円と公民館電気料一一、〇七四円を着服し、自己の生活費や遊興費に充てていました。

着服した職員は、事件発覚後に退職し、着服金も全額返済しましたが、老人施設の皆様には、ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

町職員が公金を着服するという重大な不祥事は、決して許される行為ではありません。

今回の不祥事の原因は、担当職員の非遵行為によるものではありませんが、町長をはじめ管理監督すべき立場にある職員や組織の運営、公金管理の仕組みについても問題があったと痛感しています。

今後このような過ちを繰り返すことがないよう、綱紀の保持に努め、公金の扱いについては、適正な管理ができる仕組みを構築し、再発防止の徹底を図り、町民の皆様への信頼回復に町職員一丸となり取り組んでまいります。

今後とも町政の推進に対しまして、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月10日

伊仙町長 大久保 明

わが町のアイドル



井野 春海 (いの はるみ)
(2歳8カ月)
父：好幸 母：一恵
「はるみは、怒ってるからね」って大人みたいな口ぶりで話す「はるみ」が可愛らしくて、笑ってしまいます。みんなに笑いをありがとう。



喜島 大慎 (きじま だいしん)
(2歳5カ月)
父：健一郎 母：キヨミ
わが家のアイドルわんぱく大慎。今一番興味のある事は牛・音楽・・・
ワイド・ワイドの曲に合わせて踊る姿がかわいく、笑わせてくれます。



名越 彩香 (なごし あやか)
(3歳)
父：重浩 母：千恵子
いつも彩香の笑顔に元気をもらっています。
これからも健やかで、心に花のある優しい人に成長してね。



寿山 大成 (すやま だいせい)
(2歳4カ月)
父：貴弘 母：美穂
牛が大好きな“大成”大きくなったら「全島一」の闘牛主になれるかな？

アイドル募集!

本紙では「わが町のアイドル」と題して、わが家のかわいい子どもの写真を掲載します。
毎月10日までに住所・氏名(子どもと保護者)・電話番号・簡単なPR文を添えて、写真を役場企画課広報係までお持ち下さい。

問合せ先 伊仙町役場企画課
86-3111 (内24)

人口の動き

(平成22年11月30日現在)

総人口 = 7,335	出生 = 5
男 = 3,658	死亡 = 14
女 = 3,677	転入 = 28
世帯 = 3,608	転出 = 14

戸籍の窓

お誕生おめでとう (敬略称)

川口 一成	久保 開誠	三島 大雅	田中 煌義	直江 明日	澤田 善美	赤松 愛美	常 柊斗	出生児	保護者	集落名
晋平	誠 裕司	伊 木之香	綜馬	宏晃	浩二	茂樹	敏之	馬根		
犬田布	検福	伊仙	阿三	阿三	検福	伊仙	伊仙	伊仙		

ご結婚おめでとう (敬略称)

里田 宝永	市原 勇	太 喜村	橋口 元山	雅喜
愛 浩樹	富久代	秀樹	直喜	霧島市
伊仙	熊本	伊仙	伊仙	伊仙

香典返し

※ 社会福祉協議会受付

○伊 仙の西園	繁さん	(亡西園)	松榮さん	より金一封
○河 地の坂元	一馬さん	(亡坂元)	清二さん	より金一封
○犬田布の寺本	晃さん	(亡寺本)	源志さん	より金一封
○阿 権の作田	隆司さん	(亡作田)	ヨシさん	より金一封
○小 島の牧	松廣さん	(亡牧)	武良さん	より金一封
○犬田布の松下	孝さん	(亡松下)	美代子さん	より金一封
○小 島の屋江	ヤスさん	(亡屋江)	前徳さん	より金一封
○阿 権の南	誠次郎さん	(亡南)	セツ子さん	より金一封

